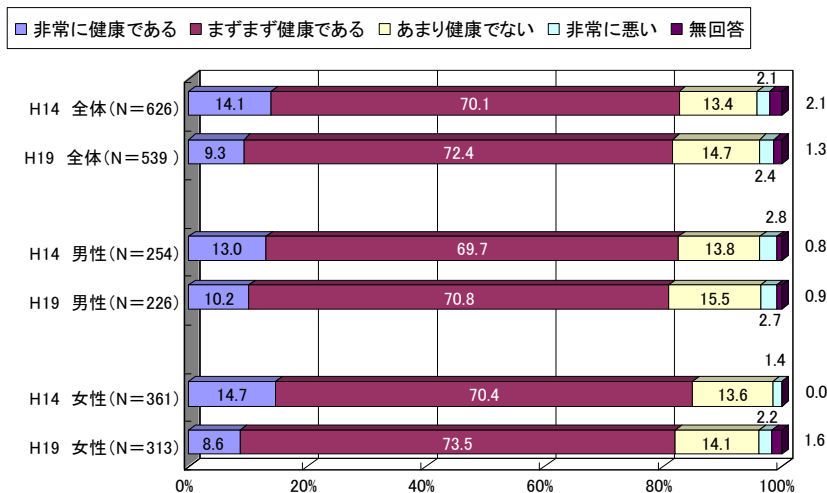


調査結果の概要

1. 健康に関する意識について

自己の健康状態に対する意識を回答者全体でみると、「まずまず健康である」が72.4%と圧倒的に高く、「非常に健康である」が、9.3%であった。平成18年の内閣府全国調査では、「非常に健康である（大いに健康である）」が24.2%で、大阪市の前回調査でも14.1%であったことを考えると、「非常に健康である」人が減少傾向にあることが分かる。



概要図 健康状態（性別 H14調査比較/単数回答）

2. 運動・スポーツの実施状況について

(1) 週1回以上の運動・スポーツ実施者の割合

- 週1回以上の運動・スポーツ実施者の割合を回答者全体でみると、45.7%であった。平成18年内閣府全国調査では44.4%であったため、全国平均を上回る数値となった。
- 週1回以上の運動・スポーツ実施者の割合は、10年前の平成9年大阪市調査では32.2%、平成14年前回調査では33.0%であり、前回調査よりも12.7ポイント上回る結果となった。
- 大阪府が掲げている、「早期に週1回以上の運動・スポーツ実施者の割合を50%にする」という目標値を達成するまでに、あと4.3%となった。

(2) 性別による週1回以上の運動・スポーツ実施者の割合

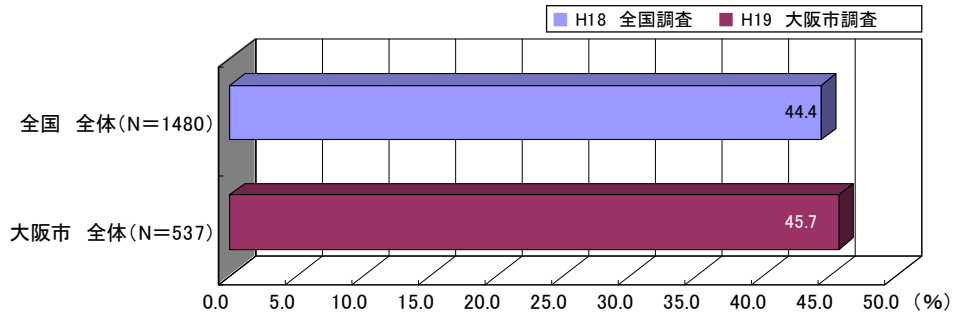
- 週1回以上の運動・スポーツ実施者の割合を性別でみると、男性48.9%、女性43.3%であった。
- 前回調査と比較すると、男性では35.8%→48.9%と13.1%のアップ、女性では31.0%→43.3%と12.3%のアップとなり男女共に10ポイント以上も上回る結果となった。

(3) 年代別による週1回以上の運動・スポーツ実施者の割合

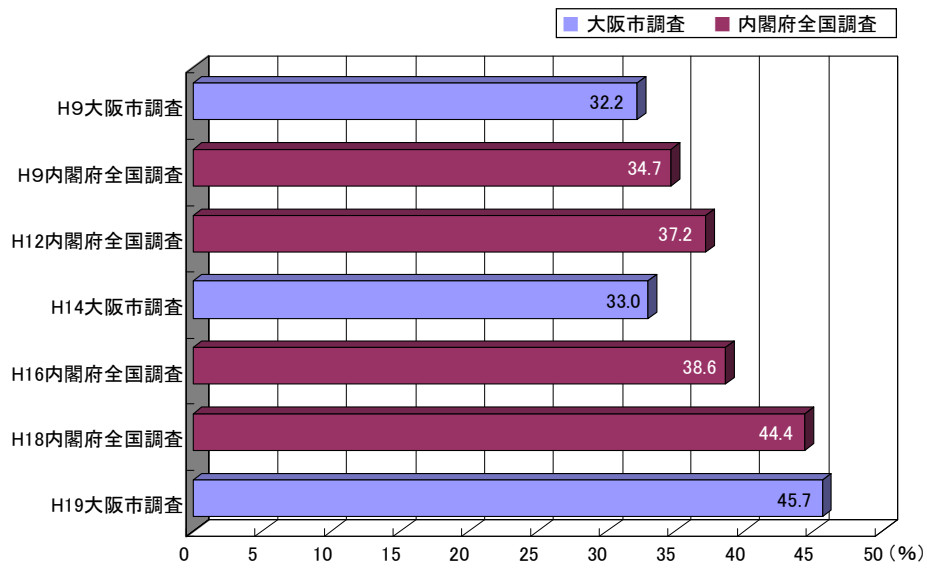
- 週1回以上の運動・スポーツ実施者の割合を年代別でみると、男性で最も週1回以上の実施率が高いのが60歳以上(52.9%)、次いで、50歳代(51.2%)、同じく女性でも60歳以上(49.2%)、次いで、50歳代(44.6%)といずれも50歳代以上の実施率が高い結果となった。

(4) この1年間に行なった運動・スポーツと今後、行ないたい運動・スポーツ

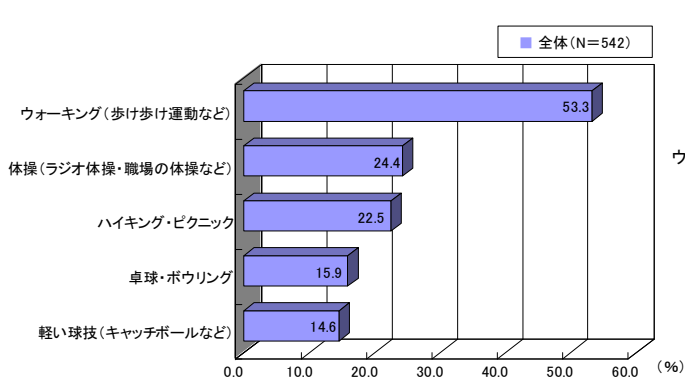
- この1年間に行なった運動・スポーツの第1位は「ウォーキング（歩け歩け運動・散歩など）」で、今後、行ないたい運動・スポーツの第1位は「ハイキング・ピクニック」であった。



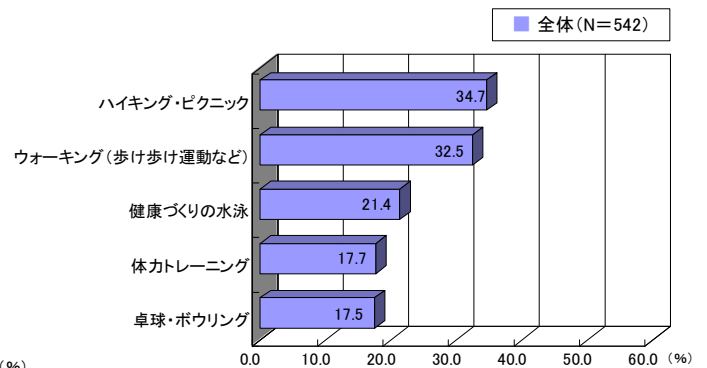
概要図 週1回以上の運動・スポーツ実施者の割合 (性別 H18全国調査比較/単数回答)



概要図 週1回以上の運動・スポーツ実施者の割合 (内閣府全国調査比較/単数回答)



概要図 この1年間に行なった運動やスポーツ上位5種目(全体/複数回答)



概要図 今後行なってみたい運動やスポーツ上位5種目 (全体/複数回答)

3. スポーツクラブ・同好会の加入状況について

(1) クラブ・同好会への加入状況

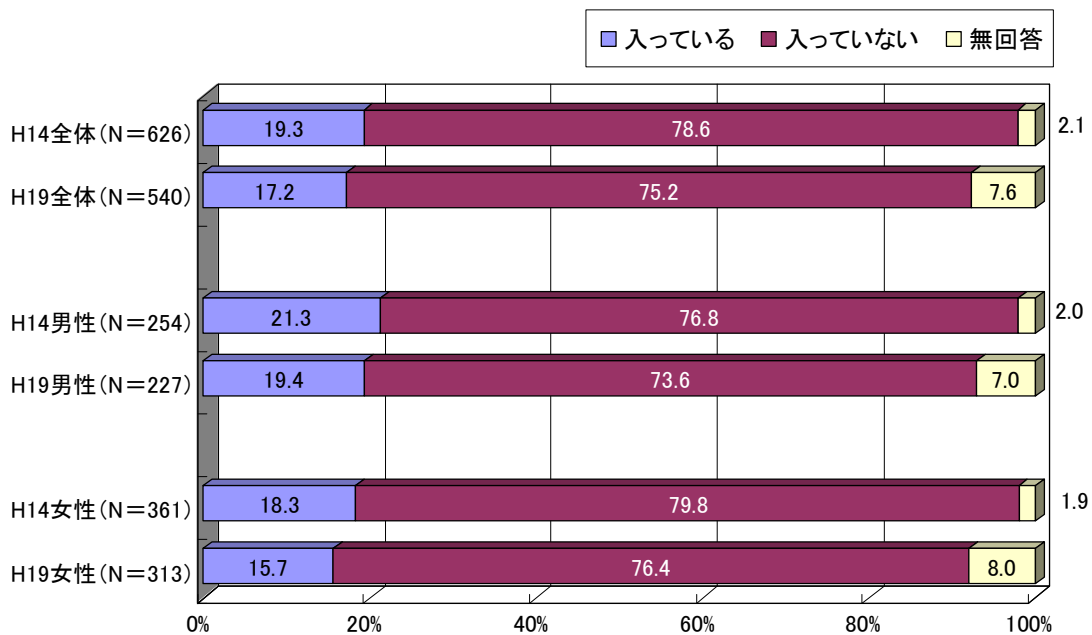
- ・ 職場や地域、民間施設などの運動・スポーツのクラブや同好会への加入状況は、回答者全体で「入っている」人が17.2%、「入っていない」人が75.2%であった。
- ・ 平成18年内閣府全国調査では、「加入者」が15.3%であったため、全国平均を上回る数値となった。
- ・ 前回調査では、19.3%が加入していたが、今回の調査では17.2%と2.1ポイント下回る結果となった。

(2) 性別によるクラブ・同好会への加入状況

- ・ 性別によるクラブや同好会への加入状況は、「入っている」人が男性19.4%、女性15.7%であった。
- ・ 前回調査と比較すると、男性では21.3%→19.4%と1.9%のダウン、女性では18.3%→15.7%と2.6%のダウンとなり、男女共に下回る結果となった。

(3) 年代別によるクラブ・同好会への加入状況

- ・ 年代別にみると、加入者は男女共に30歳代(男性：10.3%,女性：10.9%)は最も低い数値を示した。

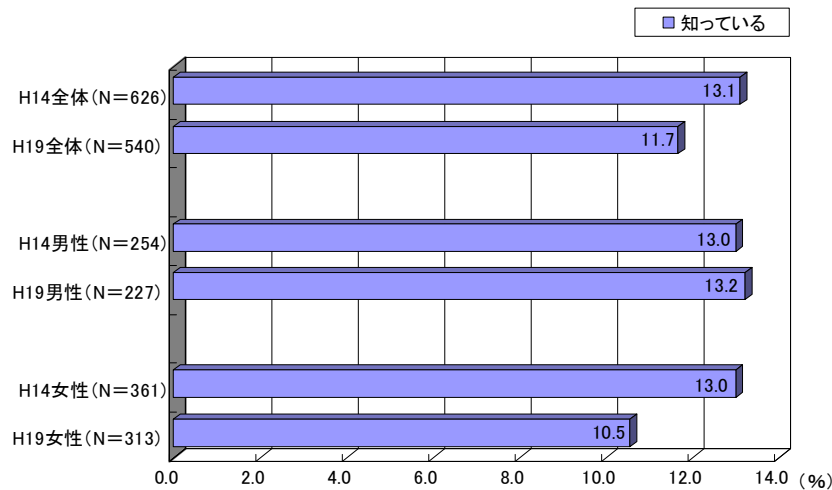


概要図 スポーツクラブや同好会への加入状況
(H14調査比較 性別/単数回答)

4. 総合型地域スポーツクラブについて

(1) 総合型地域スポーツクラブの認知度

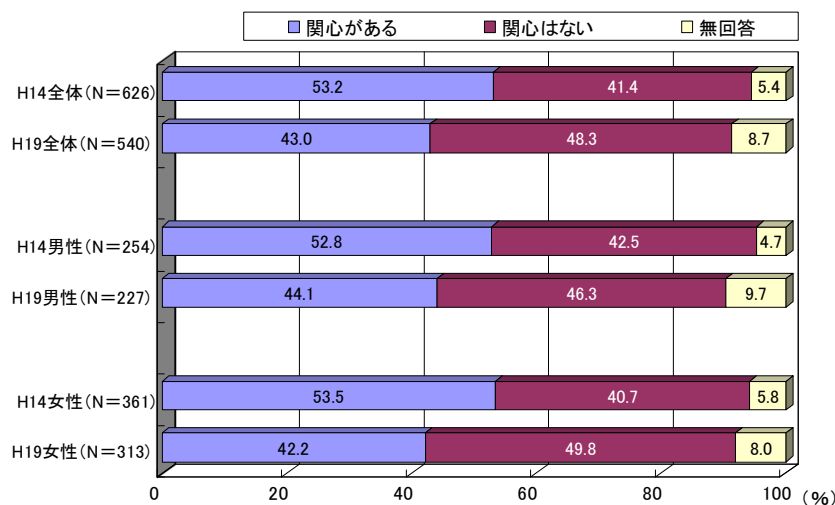
- ・ 総合型地域スポーツクラブの回答者全体の認知度は、「既に参加している」人と「知っている」人を合わせて「知っている」と分類し、11.7%という数値を示した。
- ・ 前回調査では、「知っている」人が13.1%であったにもかかわらず、今回の調査では1.4ポイント下回る結果となった。その要因としては、女性の認知度（10.5%）の低さが挙げられる。



概要図 総合型地域スポーツクラブについて
(性別 H14調査比較/単数回答)

(2) 総合型地域スポーツクラブに対する関心度

- ・ 総合型地域スポーツクラブに対する回答者全体の関心度は、「関心がある」人が43.0%、「関心はない」という人が48.3%であった。
- ・ 前回調査では「関心がある」人53.2%であったにもかかわらず、今回の調査では43.0%と10.2ポイント下回る結果となった。



概要図 総合型地域スポーツクラブに対する関心
(性別 H14調査比較/単数回答)

5. スポーツ行事への参加状況について

(1) 過去1年間のスポーツ行事・イベントへの参加状況

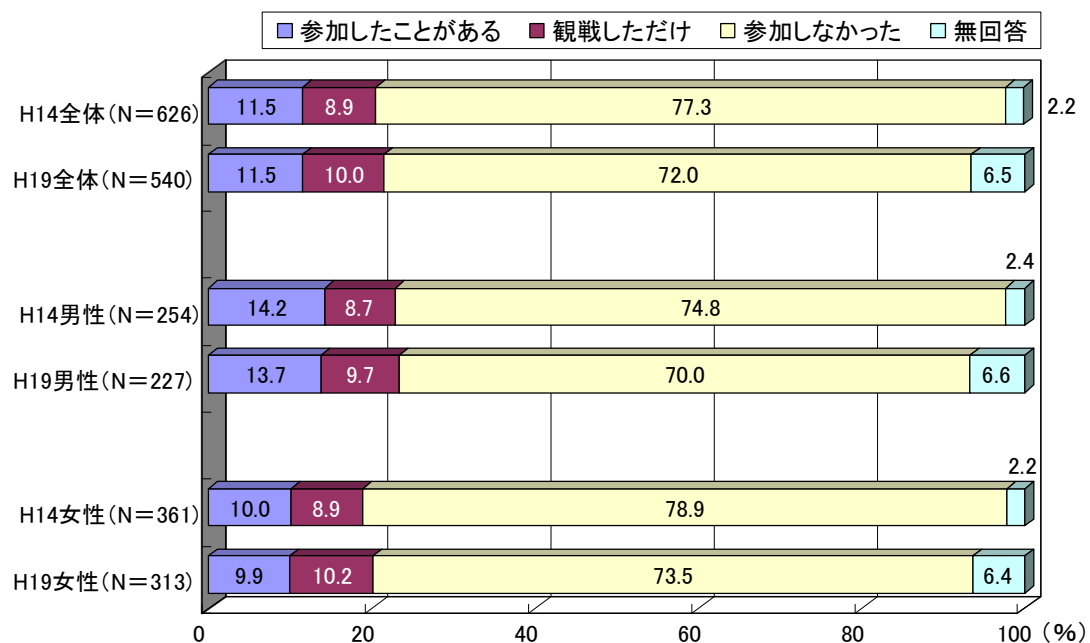
- ・ 過去1年間に大阪市や区・町会などが催す地域のスポーツ行事・イベントへの参加状況を回答者全体で見ると、「参加しなかった」72.0%、「参加したことがある」11.5%、「観戦しただけ」10.0%であった。
- ・ 今回の結果は、前回調査とほぼ同じ傾向を示している。

(2) 性別による過去1年間のスポーツ行事・イベントへの参加状況

- ・ 地域のスポーツ行事・イベントへの参加状況を性別で見ると、「参加したことがある」という男性が13.7%を占め、女性の9.9%よりも3.8ポイント高い結果となった。
- ・ 前回調査と比較すると、男女共に若干ではあるが、数値は下回っている。

(3) 年代別による過去1年間のスポーツ行事・イベントへの参加状況

- ・ 地域のスポーツ行事・イベントへの参加状況を年代別で見ると、特に男性の60歳代(18.6%)と50歳代(17.1%)、女性の60歳代(14.5%)の参加率が高く、男女共に20歳代の参加率が極端に低い数値を示した。



概要図 この1年間のスポーツ行事やイベントの参加状況
(性別 H14調査比較/単数回答)

6. スポーツボランティアの活動について

(1) 過去1年間のスポーツボランティア活動の経験

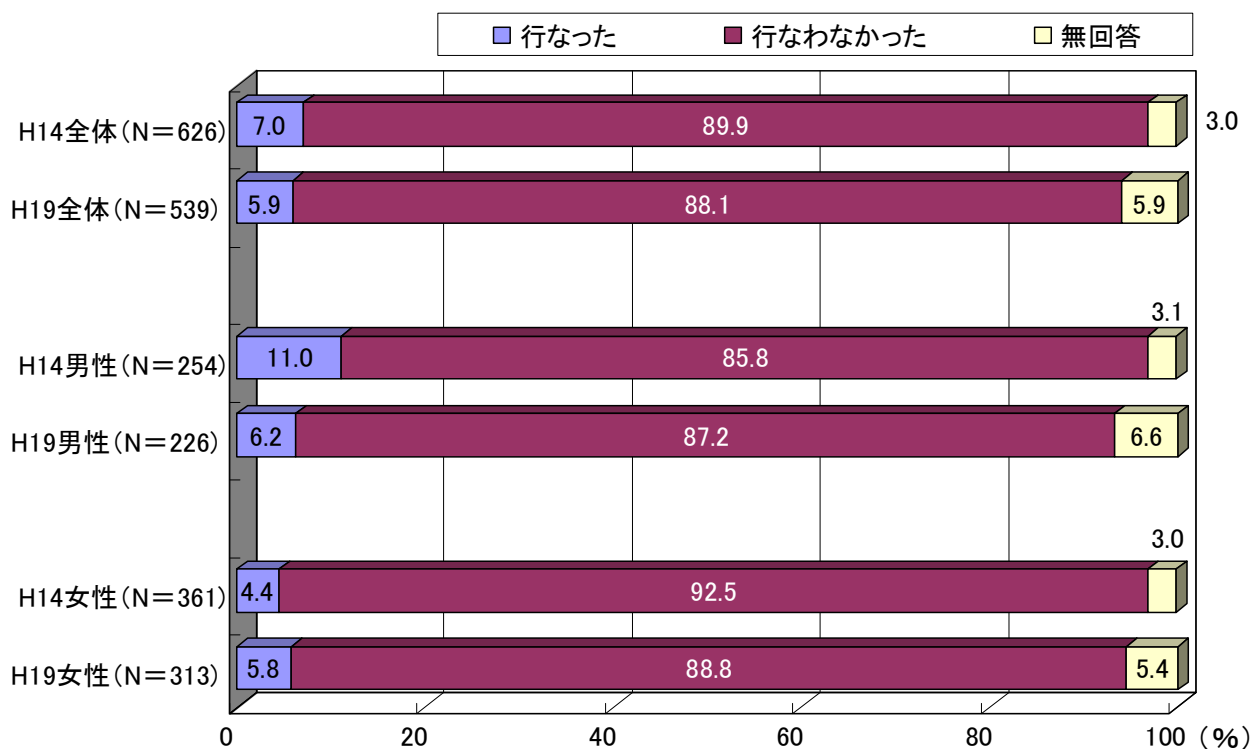
- ・ 過去1年間のスポーツボランティア活動経験の有無の割合を回答者全体で見ると、ボランティアを「行なった」人は5.9%であった。平成18年内閣府全国調査では、7.9%であったため、全国平均を2ポイント下回る数値となった。
- ・ 前回調査と比較するとスポーツボランティア実施者は7.0%→5.9%に1.1ポイント下回る結果となった。

(2) 性別による過去1年間のスポーツボランティア活動の経験

- ・ 前回調査と比較すると、スポーツボランティア実施者は男性では11.0%→6.2%と減少しているのに対し、女性では4.4%→5.8%とわずかながら数値を伸ばした。しかし、男女で比較すると男性の方が若干上回っている。

(3) 年代別による過去1年間のスポーツボランティア活動の経験

- ・ 年代別で見ると、40歳代男性と20歳代、70歳以上の女性の数値が非常に低いことが分かる。



概略図 この1年間に行なったボランティア活動
(性別 H14調査比較/単数回答)

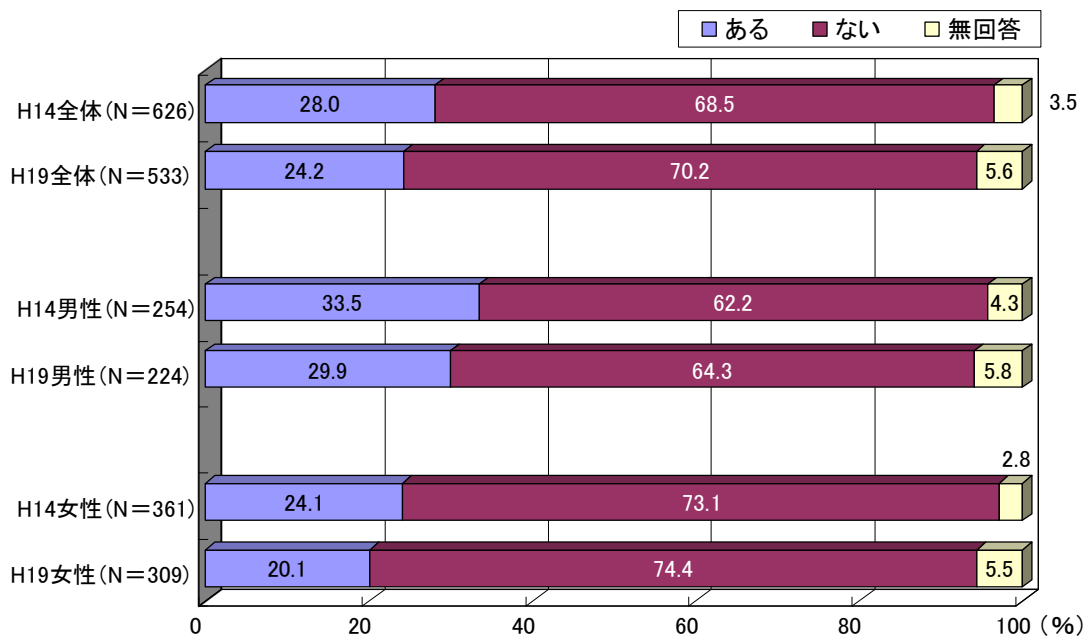
7. スポーツに関する試合・大会の観戦について

(1) 過去1年間の会場でのスポーツの試合や大会の観戦の経験

- 過去1年間の会場でのスポーツの試合や大会の観戦経験の有無を回答者全体でみると、観戦経験が「ある」人が24.2%、「ない」人が70.2%であった。
- 前回調査では観戦経験が「ある」人が28.0%→24.2%で、前回調査よりも3.8ポイント下回る結果となった。

(2) 性別による過去1年間の会場でのスポーツの試合や大会の観戦の経験

- 過去1年間の会場でのスポーツの試合や大会の観戦経験の有無を性別でみると、観戦経験が「ある」男性は29.9%、女性は20.1%で男性の方が高い結果となった。
- 前回調査の性別で比較すると、観戦経験が「ある」男性は33.5%→29.9%、女性は24.1%→20.1%と男女共に前回調査を下回る結果となった。



概要図 この1年間の会場でのスポーツ観戦
(性別 H14調査比較/単数回答)

8. 国際競技大会に関する意識について

(1) 今後開催を希望する国際競技大会の種目

- ・ 大阪市で今後開催を希望する国際競技大会の種目を回答者全体でみると、第1位「野球」32.8%、第2位「陸上競技」30.9%、第3位「サッカー」29.6%、第4位「バレーボール」22.2%、第5位「水泳競技」19.4%、第6位「体操競技」18.0%であった。
- ・ 前回調査では、第1位「サッカー」24.8%→29.6%、第2位「水泳競技」19.5%→19.4%、第3位「陸上競技」18.4%→30.9%となっており、「野球」は第5位で15.3%であった。
- ・ 「野球」と「陸上競技」は上昇し、「サッカー」と「水泳競技」は順位を下げたが、数値が大幅に減少しているわけではない。

概要表 今後、開催を希望する国際競技大会種目

(%)

	全体 N=540		男性 N=227		女性 N=313
野球	32.8	野球	43.6	陸上競技	34.5
陸上競技	30.9	サッカー	32.2	サッカー	27.8
サッカー	29.6	陸上競技	26.0	バレーボール	26.2
バレーボール	22.2	水泳競技	18.5	野球	24.9
水泳競技	19.4	バレーボール	16.7	体操競技	22.4
体操競技	18.0	ラグビー	14.1	スケート	20.4
スケート	14.8	柔道	12.8	水泳競技	20.1
テニス	11.5	体操競技	11.9	テニス	13.7
柔道	11.1	ボクシング	11.5	柔道	9.9
ボクシング	8.3	ソフトボール	8.8	卓球	8.0
卓球	8.1	テニス	8.4	バスケットボール	7.7
ラグビー	8.0	卓球	8.4	バドミントン	6.7
バスケットボール	7.2	スケート	7.0	ボクシング	6.1
バドミントン	5.6	バスケットボール	6.6	ラグビー	3.5
ソフトボール	5.4	バドミントン	4.0	アーチェリー	2.9
アーチェリー	2.6	テコンドー	3.1	ソフトボール	2.9
レスリング	2.2	レスリング	3.1	レスリング	1.6
ボート	2.2	ボート	3.1	ボート	1.6
テコンドー	2.0	アーチェリー	2.2	ハンドボール	1.3
ハンドボール	1.3	ヨット	1.8	テコンドー	1.3
ホッケー	1.3	ハンドボール	1.3	ホッケー	1.3
ヨット	1.3	ホッケー	1.3	ヨット	1.0
ウェイトリフティング	0.4	ウェイトリフティング	0.4	ウェイトリフティング	0.3
その他	4.3	その他	4.8	その他	3.8
無回答	18.7	無回答	16.3	無回答	20.4

(複数回答)

9. スポーツ情報サービスについて

(1) スポーツ情報の入手方法

- ・ 大阪市のスポーツに関わる情報（施設の有無、施設の空き情報、教室等のプログラム・イベント・行事の開催、場所・時間など）の入手方法を回答者全体でみると、第1位「行政が出す刊行物（大阪市政だより・広報誌など）」49.4%、第2位「新聞や新聞広告」23.2%、第3位「テレビやラジオ」22.7%、「電車・バスなどの交通機関に張られている広告」13.4%、「友人・知人・家族」10.9%、「インターネット（みおつくしネットを含む）」9.3%であった。
- ・ 前回調査と比較しても上位6位までの順位に変動はないが、上位4位の数値が減少傾向にある。具体的には、第1位「行政が出す刊行物（大阪市政だより・広報誌など）」60.9%→49.4%、「新聞や新聞広告」32.9%→23.2%、「テレビやラジオ」29.9%→22.7%、「電車・バスなどの交通機関に張られている広告」20.9→13.4%というように、大幅な減少になっている。

(2) 入手したいスポーツ情報

- ・ 大阪市の入手したいスポーツに関わる情報（施設の有無、施設の空き情報、教室等のプログラム・イベント・行事の開催、場所・時間など）を回答者全体でみると、第1位「室内でもできる手軽な運動」29.6%、第2位「市内の身近なウォーキングコース」29.4%、第3位「スポーツ施設に関わる情報（施設の場所・空き情報・利用手続きなど）」25.7%、「スポーツ教室やスポーツプログラムについて」17.7%、「全国的・国際的なスポーツイベント」13.6%、「スポーツのクラブやサークルについて」11.9%、「市民参加型のスポーツ行事やスポーツイベント」10.7%であった。

	全体 N=506
行政が出す刊行物(大阪市政だより・広報誌など)	49.4
新聞や新聞広告	23.2
テレビやラジオ	22.7
電車・バスなどの交通機関に張られている広告	13.4
知人・友人・家族	10.9
インターネット(みおつくしスポーツネットを含む)	9.3
(財)大阪市スポーツ・みどり振興協会発行「オーサカハッスル」	1.8
イベント雑誌	0.6
電話による情報提供(大阪市スポーツ情報コーナー)	0.0
その他	3.4
無回答	16.6

(複数回答)

	全体 N=514
室内でもできる手軽な運動	29.6
市内の身近なウォーキングコース	29.4
スポーツ施設に関わる情報(施設の場所・空き情報・利用手続きなど)	25.7
スポーツ教室やスポーツプログラムについて	17.7
全国的・国際的なスポーツ大会やスポーツイベント	13.6
スポーツのクラブやサークルについて	11.9
市民参加型のスポーツ行事やスポーツイベント	10.7
スポーツ医科学について	5.3
スポーツボランティアの募集やあつまりなどについて	2.3
指導者講習会や研修会など	1.4
スポーツ指導者や審判の派遣申し込みについて	0.4
その他	1.4
無回答	16.3

(複数回答)

10. 「スポーツ都市大阪」のイメージ

(1) 期待する「スポーツ都市大阪」のイメージ

- ・ 大阪市に期待する「スポーツ都市大阪」のイメージを回答者全体で見ると、第1位「公園や緑の自然に囲まれてスポーツが楽しめる都市」50.8%、第2位「手軽に利用できるスポーツ施設が整備された都市」45.8%、第3位「全国レベル・国際レベルのスポーツ大会が多く開催される都市」15.7%、第4位「全国的・国際的規模のスポーツ施設が整備された都市」13.8%、第5位「市民のためのスポーツ大会や行事が多く開催される都市」12.8%であった。
- ・ 選択肢の項目が若干異なるため単純に比較はできないが、参考として前回調査と上位の第1位「公園や緑の自然に囲まれてスポーツが楽しめる都市」(55.6%→50.8%)と、第2位「手軽に利用できるスポーツ施設が整備された都市」(52.7%→45.8%)は同様であるが数値が下がっている。また、前回調査の第3位は今回第5位の「市民のためのスポーツ大会や行事が多く開催される都市」(17.1%→12.8%)であった。

概要表 期待する「スポーツ都市大阪」のイメージ	(%)
	全体
	N=522
公園や緑の自然に囲まれてスポーツが楽しめる都市	50.8
手軽に利用できるスポーツ施設が整備された都市	45.8
全国レベル・国際レベルのスポーツ大会が多く開催される都市	15.7
全国的・国際的規模のスポーツ施設が整備された都市	13.8
市民のためのスポーツ大会や行事が多く開催される都市	12.8
スポーツ愛好者やスポーツクラブが多い都市	7.3
スポーツの国際交流(市民レベルを含む)が盛んな都市	5.6
世界で活躍するスポーツ選手の多い都市	3.6
その他	1.5
無回答	13.3

(複数回答)